

自昭和四十二年四月一日
至昭和四十二年五月三十一日

同志社創立九十周年
記念事業資金

寄付者芳名

(第二十五回
表)

学校法人 同志社

金拾五億円

募金・募債額

内 訳

金 拾億円

募金額

金 五億円

募債額

☆

(寄付申込額第二十五回発表)

合計 金壱千四万円

寄付申込件数 三四五件

(昭和四十二年五月三十一日現在)

☆

募金に対する寄付申込額

累計金八億八百九拾貳万四千四百六拾九円

寄付申込件数 一四、一七九件

(昭和四十二年五月三十一日現在)

☆

募債 金五億円

(昭和三十六年八月二十二日満額)

寄付者芳名 (第二十五回発表)

自 昭和四十二年四月 一日	至 昭和四十二年五月三十一 日	金壹百万円(追加)	東京 末広ヒロ殿	金貳拾万円	大分 飯田嘉雄殿	金貳拾万円	グアイワ 家具株式会社	取締役社長 土田嘉兵衛殿	金壹拾万円	株式会社 善田昌運堂	取締役社長 善田喜一郎殿	金壹拾万円	株式会社 渡辺泰商店	取締役社長 渡辺泰助殿	金壹拾万円	京都 岩田宗之介殿	金壹拾万円	京都 田辺哲崖殿	金五万円	兵庫 吉田清孝殿	金五万円(追加)	京都 木下弥三郎殿	松坂屋名古屋店藤叡会	渡辺昌夫殿	小森重和殿	宮地伸夫殿	阪正隆殿	長谷川和正殿	竹内道夫殿
高橋貞夫殿	西川真澄殿	塩原仁殿	村田昌弘殿	鬼頭伊之助殿	松永好弘殿	野本武志殿	京都 由利達雄殿	京都 鈴木政男殿	京都 北井稔殿	愛知 印藤明殿	大阪 松田喜造殿	大阪 中村俊殿	同志社 井全殿	京都 乾演生殿	三重 矢野孟民殿	岡山 大倉美登里殿	愛知 江一忠殿	静岡 工藤幸三殿	金参万円	株式会社 榮文堂印刷所	取締役社長 水上徳太郎殿	真興社印刷 株式会社	取締役社長 大野吉太郎殿	大阪 大野吾一殿	京都 西敬三殿	京都 田上敬一殿	大阪 井上宗一殿	滋賀 内清二殿	大阪 小林正久殿
金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金参万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円	金貳万円
沖繩 島住光殿	京都 善田一雄殿	京都 松本要殿	京都 中川圭造殿	京都 久保田泰二殿	京都 山田治直殿	京都 谷英治殿	大阪 松村欣一殿	兵庫 植田三四太郎殿	大阪 木内精一郎殿	栃木 福山清秀殿	京都 高橋博殿	大阪 島本銀殿	大阪 松尾晃殿	京都 広瀬吉殿	京都 木村榮洋殿	兵庫 生田秀治殿	愛媛 服部利雄殿	新潟 安田誠一殿	大分 富田石雄殿	愛知 細田盛殿	福岡 田中政盛殿	京都 坂江準一郎殿	京都 伊庭幡彦殿	京都 和田耕三殿	岐阜 沢田光郎殿	兵庫 久須美三好殿			

寄付金募集要項

一、寄付金募集金額 金 拾 億 円

二、寄付金の種類

1、法人（会社、銀行等）に願ひするもの

○ 金十万円以上を願ひいたします。

○ 法人の寄付金については昭和四十三年十二月十八日までに期限として法人特別枠寄付金による法人税の一部免
税承認を受けています。

○ 一時払または分割払の区別がありません。

2、個人（卒業生、父兄、一般篤志家）に願ひするもの

○ 一口の金額を金五千円、金壹万円、金参万円、金五万円、金拾万円、金参拾万円、金五拾万円、金百万円の八種といたしました。但し、口数は端数になっても結構です。

○ 個人の寄付金についても昭和四十三年十二月十八日までに期限として所得税の一部免税承認を受けています。

○ 一時払または分割払で結構です。

三、寄付金払込方法

イ、銀行利用

主要銀行の本支店で「同志社記念事業口座」へお払込み下さい。

ロ、郵便局利用

1、京都市上京区今出川通烏丸東入、同志社記念事業事務局、振替口座京都五二四三番へお振込み下さい。

2、現金書留、為替送金（書留）でご送金願ひします。

ハ、直接ご持参

同志社本部 記念事業事務局へ直接ご持参願ひします。

寄付金の本領収証は同志社記念事業事務局からご送付いたします。

この募金についてのご照会は左記あてに願ひいたします。

同志社記念事業事務局

京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社内

電話 京都 〇二三一 一番（大代表）

振替 口座 京都 五二四三番

同志社記念事業事務局東京事務所

東京都中央区銀座四ノ二 聖書館ビル

同志社東京分室内

電話 東京 〇三 七六二七番

〇四 〇一四番